

第4章 試験検査

試験検査業務は、行政検査と依頼検査に大別される。

行政検査としては、健康危機管理に伴う検査、食品保健に係る検査、水質検査、臨床検査等を行った。

依頼検査としては、食品検査、水質検査等を行った。

第1節 行政検査

1 健康危機管理

(感染症、食中毒等関連検査)

感染症や食中毒など健康危機の発生に対し、保健所は、迅速に原因を究明し、健康被害の拡大を防止するための初動検査を実施している。

健康被害の発生に伴い、検便や食品等検体について関係項目の検査を実施した(表1)。

このうち健康被害の原因と判明した病原微生物について、血清型、毒素型を示す(表2)。

表1 健康被害発生に伴う検査

令和元年度(単位:件)

検体の種類		便・菌株	食品・浴槽水・ふきとり	計	
検体数		86	22	16	124
検査項目	腸管出血性大腸菌	98	—	—	98
	病原性大腸菌	54	—	16	70
	サルモネラ属菌	54	3	16	73
	腸炎ビブリオ	54	—	16	70
	黄色ブドウ球菌	54	—	16	70
	カンピロバクター	54	—	16	70
	セレウス菌	54	—	16	70
	ウェルシュ菌	54	—	16	70
	ノロウイルス	32	—	—	32
	クアア・セプトンクタータ	—	2	—	2
	レジオネラ属菌	—	6	—	6

ノロウイルス、レジオネラ属菌、クアア検査については保健環境センターで実施

表2 健康被害の原因と判明した病原微生物

令和元年度

発生日	検体	原因病原微生物
H31.4	便	腸管出血性大腸菌 026:H11(VT1)
R元.6	便	ノロウイルス GII
6	便	ノロウイルス GII
6	便	腸管出血性大腸菌 023:H14(VT2)
6	便	腸管出血性大腸菌 0157:H7(VT2)
7	便	ノロウイルス GII
7	便	ノロウイルス GII
7	便	腸管出血性大腸菌 0157:H7(VT2)
8	便	腸管出血性大腸菌 0157:H7(VT2)
10	便	腸管出血性大腸菌 0171:H ⁻ (VT2)
12	便	ノロウイルス GII
12	便	サポウイルス
R2.2	便	ノロウイルス GII

2 食品保健

食品製造事業者等に対し、春・夏期及び年末の食品衛生一斉監視指導に伴う収去食品について、細菌検査を実施した。また全国献血大会開催に伴い、御成り検査として食品の細菌検査を実施した。(表3)。

表3 食品衛生一斉監視指導等による収去検査

令和元年度(単位:件)

区 分	食 品			合 計	
	成分規格	県指導基準	その他		
検 体 数	17	17	8	42	
検 査 項 目	細菌数(生菌数)	12	17	—	29
	大腸菌群(定性)	8	3	—	11
	大腸菌(定性)	—	14	8	22
	大腸菌(定量)	4	—	—	4
	腸管出血性大腸菌	—	—	8	8
	サルモネラ属菌	—	17	8	25
	黄色ブドウ球菌	—	17	—	17
	カンピロバクター	—	—	8	8
	腸炎ビブリオ(定性)	—	—	—	—
	腸炎ビブリオ(定量)	4	—	—	4
恒温試験及び細菌試験	5	—	—	5	

3 水質検査

海水浴場水について、管内3ヶ所の海水浴場で、開設前と開設中の年2回採水し、水質検査を実施した(表4)。

表4 水質検査 令和元年度(単位:件)

区 分		海水浴場水
検 体 数		24
検 査 項 目	p H	24
	C O D	24
	糞便性大腸菌群数	24
	腸管出血性大腸菌O157	6

4 臨床検査

H I V抗体検査として、免疫クロマトグラフィー法によるH I V迅速検査を92件実施した。